

県議会議員はくいし恵子の



風だより

'17. 2月議会報告ダイジェスト



発行者 はくいし恵子
事務所 松江市大橋町414-12
TEL/FAX 0852-23-0880
発行日 2017年3月15日

* はじめに

今年1月末には6年ぶりの大雪。2月にもまた積もるといふ近年では珍しく山陰地方らしい寒い冬となりました。そんな中、2月16日から3月15日まで2月定例県議会が開かれました。24日の一般質問で取り上げた論戦の一部をご報告しますので、お読み頂いてご意見などお寄せ頂ければ幸いです。

* 2月定例議会、一般質問

質問：県職場（知事部局）の「働き方改革」について

- 1) 長時間労働の是正はリーダーの強い意志が必要。知事の考えを伺う。（知事）引き続き、各部長の先頭に立って取り組んでいく。
- 2) 36協定適用職場は厳密な管理を。その他職場は36協定に準じた協定を結んでほしい。（総務部長）*36協定とは・・・労使で結ぶ時間外勤務の協定
時間外の発生理由・対策を各職場で話し合う。任意職場も36協定に準じた取り組みをし、本庁は時間外勤務に関する確認書を締結するよう進めていく。

質問：子どもの貧困について（健福部長・教育長）

- 1) 県内の状況を把握するためアンケート調査の実施はできないか。
（健福）母子寡婦実態調査で把握したい。（教育長）学力テストは利用できない。
- 2) 県・市町村での首長部局と教委の連携、
県と市町村との連携について伺う。
（健福）一層の連携が必要。連携は欠かせない。（教育長）課題意識を共有できるよう努める。

質問：要配慮者利用施設（保育園・老人ホーム等）の避難計画について（土木部長）

- 1) 計画策定はゼロと聞いた。早急に策定を。
1, 2月に説明会開催後、492施設中52施設で作成済み（1割）。作成が進むよう働きかけていく。



2) 福祉部局等連携体制はどうか。

必要に応じ関係部局で情報共有し、連携を図る。

質問：隠岐航路の維持・改善について（知事）

1) 運賃低廉化の国の交付金は離島住民と住民に準ずる者に限定された。利用者全てが対象となるよう、今後どう取り組んでいくか。

4 町村の意見を良く聞きながら、引き続き働きかけていく。

2) 多くの課題解決のため、県や4町村、隠岐汽船等で組織する協議会を設ける考えはないか。

地元町村のまとまりが大事。隠岐汽船と地元町村で良く話し合い、その上で県も課題解決に努力する。協議会は4町村の意向を聞いて検討する。

質問：ユニバーサルデザインタクシーについて（地域振興部長）

1) 東京・鳥取のように積極的に導入をする考えはあるか。

地域でよく話し合うことが大事。県はこういった情報を提供している。

2) 小さな拠点づくりの為に各課の補助金等を一元的に提供する考えはないか。

従来からプロジェクトチームを設置して、情報共有している。常にアンテナを高くし、問題解決につなげていくのは大切。今後ともそうあるよう努めていく。

質問：職員が部局を超えて連携しようとする意識醸成について

1) 職員が、連携が必要な課題に対するセンシティブな意識醸成に知事のリーダーシップを期待するがどうか。（知事）

部局長会議で情報共有しているが、部内での情報共有意識が薄いということはあると思うので、よく指示を出していきたい。

最近ではない冬らしい冬になりました。今日も3月になったのに、雪が舞っています。経験者が少なく道路の雪かきが進まなかったり、国・県・市町の連携不足もあったようで、改めて「連携」のあり方が問われています。

「連携」と口で言うのは容易いですが、実効性のある連携はなかなかできていないのが実情です。原因は自分が直接関わる仕事でなければ脇に置いてしまうという視野の狭さだったり、その施策や事業の対象となる人への思いや想像力が欠けていたり…、ではないでしょうか。行政の仕事はその先に必ず「人」がいることを心にとめて仕事に向かって欲しいものです。人に優しい島根県であるよう願っていますし、私も議会で少しでも理想に近づけるよう頑張っていきたいと思えます。

4月からは新しい年度の始まり。議会も常任委員会や特別委員会のメンバー交代の時期です。心新たに新年度を迎えたいと思います。

‘17. 3. 15 はくいし恵子

HPは <http://www.hakuishi.sakura.ne.jp/index.html>

ブログはアメーバブログ、「はくいし恵子」で検索！

FBは「はくいし恵子」事務所FBは

「はくいし恵子とともに」で検索！

